

1996

— 都市・ひと・自然を考える —

10/4

【都市ビル環境の日】

行事プログラム



(社)福岡県ビルメンテナンス協会

主催

福岡県ビルメンテナンス協会

〒812 福岡県博多区博多駅前1丁目9番12号博多ビル425号
電話(092)481-0431 傳 真 FAX(092)481-0432 番

後援

福岡県

協賛

財団法人ビル管理教育センター
社団法人福岡ビルディング協会
社団法人福岡県警備業協会
日本環境管理学会九州支部
社団法人高層住宅管理業協会九州地方支部
社団法人建築物飲料水管理協会福岡県支部
全国管洗浄更生協会
福岡県ベストコントロール協会
福岡ガラス外装クリーニング協会
福岡県ビル管理協同組合連合会
福岡総合ビル管理事業協同組合
田川ビルメンテナンス協同組合
飯塚ビル管理事業協同組合
直方ビル管理協同組合
北九メンテ協同組合
北九州ビルメンテナンス協同組合
筑後地区ビル管理業協同組合
筑紫地区ビル管理事業協同組合
大牟田ビル管理業協同組合

都市ビル環境の日'96

テーマは「水の危機管理」

10月4日
『都市ビル環境の日』

設定主旨

コミュニティの快適な 環境創造をめざして

林立するビル、縦横に走る高速道路、地下を走る公共鉄道。都市のイメージは巨大な構造物で溢れがちです。しかし、その都市のなかでは日々仕事に汗を流し、家々生活を営んでいる多くの人々がいることを忘れてはなりません。人間の生活活動から考えるならば、都市は人々が交流するコミュニティと捉えることができます。生活空間、仕事空間、あるいは余暇空間など、様々な都会空間のなかで小さなコミュニティを築き、そのコミュニティが交流し合いながら大きなコミュニティを形成してきました。

私たちビルメンテナンスは、ビルという構造物を単にメンテナンスするだけでなく、このコミュニティを快適な状態に維持しようとしてきました。仕事場としての事務所ビル、生活の場としての高層住宅ビル、余暇の場としての娯楽場ビル、健康回復の場としての病院ビル。ビルは都市機能の重要な要素というだけでなく、そのビルで営まれる様々なコミュニティこそ都市機能の基盤であり、私たちは、そのコミュニティを安全で衛生的で、快適な環境に創り上げていくことを基本的な目的としています。

したがって私たちは、コミュニティの結び付きで形成されてきた都市の環境全般に対しても無関心ではられません。個々のビルの快適環境だけでは、都市環境はバランスを欠きます。個々のビルが所属する地域の環境を良好にしてはじめて、そのビルが地域コミュニティに存在する意味があると考えます。その積み重ねのなかで都市全体を快適な環境に創り上げ、市民が豊かで住み易い街として愛することができる都市に育てていかなければなりません。

福岡県は、福岡市と北九州市の百万都市を抱えながらも、美しい自然と身近に接する環境を有しています。私たちは、その自然と融合できる都市環境を築き上げていかなければなりません。

私たち社団法人福岡県ビルメンテナンス協会は、自らの仕事で都市との強い結び付きのあることを考え、住みよい街づくりに貢献していくことを目的として、10月4日を『都市ビル環境の日』と定め、県民に都市の環境づくりをアピールしていきます。



水は、都市とともにビルにとっても、極めて重要なインフラストラクチャーのひとつです。したがって水に危機が迫れば、都市機能もビル機能も大変大きな打撃を被ることになります。

都市とビルにおいて最大の水の危機は、言うまでもなく水それ自体の不足であります。ビルにも節水型の諸設備が導入され、私たちがもそれら設備が所期の目的を達成するように日々の管理を遂行するとともに、私たち自身で行える節水の努力も行っていかねばなりません。節水は、まさに水不足の予防管理であります。また起こってはならないのですが、もし水不足が発生し、深刻な給水制限が行われたとき、少ない給水の中でビル機能を維持していく術を、確保しておかなければなりません。

公共水道から上水を受け、公共下水道に汚水を流す、その間にビルの水は様々なものに利用され、ビル機能の基盤を支えています。しかし同時に、利用される局面で水の危機もつきまとっているのです。

今年、病原性大腸菌O-157の猛威は、私たちビル管理に携わる者に大きな脅威を与えました。受水槽以下の簡易専用水道の諸施設など、ひとつ間違えばビル利用者の生命に係わる危機を、私たちは常時抱えていることを思い知らされたのであります。また今年はじめ、レジオネラ菌による院内感染によって、新生児が死亡する事故も起こっています。

ビルの水は、衛生性の問題だけではなく、空調設備の冷却水やボイラーの水にも使われており、この場合は設備機器の劣化や事故、効率に係わってくるわけです。人命の問題ではありませんが、ビル運営の経済性に影響を与えることとなります。またビルの水は、防火用水でもあり、火災という危機に即対応できる水管理がなされなければなりません。

さらにビルの水はトイレ用水など雑用水に使われます。この使用量はビルの水の中でもっとも多いとされています。この部分での節水が極めて効果の高いものになります。トイレの水をはじめ使用された水は汚水として排水されます。排水管やトラップ、雑排水槽の管理が行き届いていなければ、臭いの発生だけにとどまらず上水を汚染する可能性さえ否定できません。

水の危機管理は人命や健康はもとより、ビル運営の経済性も考え合わせながら、上水から下水までトータルな水利用の管理を行うことであります。



(社)福岡県ビルメンテナンス協会 会長
末吉 恒寧

業界の使命を念頭に21世紀の理想の都市空間づくりをめざします。

私たち、社団法人福岡県ビルメンテナンス協会は、昨年、毎年10月4日を「都市ビル環境の日」と定め、会員各位への趣旨の啓蒙を図るため、西鉄グランドホテルで関係各位のお言葉をいただきながら盛大に記念式典を取り行いました。

私たちは、日々の仕事都市環境との強い結び付きのあることを念頭におき、福岡の美しい海や山、そしてこの自然と対立しているかのように見える冷たいコンクリートビル群を、調和のとれたひとに優しい、そして、美しく快適な人工空間をもつ、21世紀の都市空間として、如何に日々創造し、これを管理していかなければならないのかという使命があります。

10月4日はこの趣旨に添って毎年テーマを定めて社会へのアピールを続けていくことをお約束した意義ある日になったわけですが、今年は「水の危機管理」を主題に勉強させていただくことにしました。折しも今年の夏、病原性大腸菌0-157が全国で猛威を振るい社会問題にまでなりましたが、(社)福岡県ビルメンテナンス協会は、不特定多数の人々が利用するビルを管理する者の立場として、いち早く緊急理事会を開き、業界従事者の2次感染防止までを含めた説明会を、8月2日全国業界にさきがけて開催したことはマスコミ報道等でご案内のとおりであります。この「水」は、ビルを機能させ、ひとが生活を営むうえで「電気」と「ガス」と並ぶ重要なビルの生命線であり、恒常的な水不足で悩む福岡においては、この危機管理こそビルの設備管理者として真っ先に取り組まねばならないテーマであります。もし一昨年のように水不足が発生し、深刻な給水制限が行われたとしても、少ない給水のなかでビル機能を維持し、飲料水としての水の衛生管理ができる術を確保しておかなければならず、水の大切さはもちろんのこと、都市においてこの「水」はあらゆる用途をもち、不可欠なものだけに、日頃からの「危機管理」が私たちの仕事上重要なことだろうと思います。

最後になりましたが、「クリーンアップ福岡」のボランティア行事に参加いただきました各企業の皆様、そしてセミナー、シンポジウムにご協力いただきました関係各位、各団体の皆様へ感謝御礼を申し上げ簡単なながら挨拶とさせていただきます。



福岡県知事
麻生 渡

より快適な環境づくりへの なお一層の貢献に期待します。

「都市ビル環境の日」記念行事が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

貴協会におかれましては、昭和54年5月に設立されて以来、建築物のより衛生的な環境や安全性の確保をめざして積極的に関係業者の指導育成に努力されるとともに、着実にその成果を収めてこられたことは誠に喜ばしく、皆さんのご尽力に深く敬意を表します。

私たちをとりまく環境は、人口の都市集中化、建築技術の著しい進歩などにもない、一昔前に比べると芸術性の高い高層ビルが都市部を中心として増加しています。その結果、一日の大半をビル内で過ごす人々が年々増加しています。

このため、今やビルは単に活動の場としての経済性や機能性だけでなく、生活居住空間としての快適性や安全性が求められています。

このような状況を背景として、貴協会が全国に先駆けて平成7年から10月4日を「都市ビル環境の日」と設定され、都市と自然環境が調和した人間のために機能する優しい街づくりをテーマに今年も記念行事を開催されることは誠に意義深いものがあると申せましょう。

この記念行事に参加される皆さんにおかれましては、今後の貴業界の果たす役割を十分認識されるとともに、ビルにおけるより快適な環境づくりになお一層貢献されることを期待します。

県としても、「豊かで活力あるアジアの交流拠点ふくおか」の実現を目指して、皆さんとともに頑張っていく所存ですので、今後ともご理解とご協力をお願いします。

記念行事のご成功と貴協会のますますのご発展、皆さんのご健勝を心から折念してお祝いの言葉とします。



福岡市長
桑原 敬一

日頃の環境衛生行政推進のご協力に対し 心より感謝致します。

社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会の主催により、「都市ビル環境の日」の式典が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

さて、福岡市では、今後も増え続ける水需用に対して安全供給を図るため、昭和54年から6月1日を「節水の日」と定めるとともに、水の循環を表す「節水シンボルマーク」を制定するなど水を大切にす運動を広め、市民の皆様と行政が一体となって「節水型都市づくり」を進めているところです。

また、同じく昭和54年からは新しく建設される大型建築物等に対し、水の処理施設の設置や下水処理水の再利用による雑用水道の導入により、水の有効利用の推進を図っております。

このように「節水型都市づくり」に取り組んでおりますが、平成6年には異常渇水に見舞われ、皆様方には日常生活並びに日々の業務に大変ご迷惑をおかけしました。

この経験をふまえ、水資源開発として多々良川取水事業及び五ヶ山ダムの建設を推進するとともに、海水の淡水化、下水処理水の多目的利用及び雨水利用等について調査研究を進めているところです。

最近、全国的に、腸管出血性大腸菌感染症が多発しており、このような状況の中、多くの人の飲料水を供給する受水槽の衛生確保が非常に重要なものとなっております。

皆様方には、日頃から、建築物の環境衛生行政の推進にご協力をいただいているところですが、これまでも増して、ビル衛生管理法に基づく「建築物環境衛生年維持管理要領」等に規定する事項の遵守を徹底され、受水槽の衛生確保に万全を期されますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を心からお祈りいたします。



北九州市長
末吉 興一

問題解決に向けた積極的な 姿勢に心から敬意を表します。

「都市ビル環境の日'96」の記念式典の開催をお喜び申し上げます。

ビルのメンテナンスを通して、職場環境や居住環境などの維持、改善に努めておられる関係業界の皆さんに深く敬意を表します。

建設、建築技術の進歩などに伴い、ビルは大型化、多機能化が進み、また、安全性や快適性についてもますます多様で高度なものが求められるようになっていきます。また、地球環境保全に対する関心の高まりや水不足の経験などを踏まえて、省エネ、省資源を意識したビル管理の在り方にも注目が集まっています。

このような中で、ビル管理の技術や手法などについてより高度な専門性が要求されるようになっており、ビルメンテナンス業界に寄せられる関心と期待は非常に高いものがあります。

今回のセミナー、シンポジウムでは、今年深刻な事態を招いた病原性大腸菌0-157感染の問題にいち早く対応して、「建築物環境衛生管理」と「水の危機管理」がテーマとされたこと伺っています。地元関係業界の手によって、このように大変重要な、そして時宜を得た取り組みが行われますことを誠に心強く思います。このセミナー、シンポジウムの成果が今後のビル管理に幅広く生かされ、安全で快適なビル環境の確立に大きな一歩となりますよう期待しています。

福岡県ビルメンテナンス協会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍をお祈りします。

都市ビル環境の日'96

行事プログラム

開催日時:平成8年10月4日(金) 10:00~16:30
開催会場:福岡市健康づくりセンター10階「あいれふホール」

【午前の部】

建築物環境衛生管理技術者セミナー

- | | | |
|-------|------|--|
| 10:00 | 開会の辞 | (社)福岡県ビルメンテナンス協会会長 末吉 桓寧 |
| 10:15 | 来賓挨拶 | (財)ビル管理教育センター理事長 小川 博 氏 |
| 10:50 | 講演Ⅰ | 東京ビジネスサービス(株)技術支援部 課長 畑中 秋雄 氏
演題「ビル管理士の積極的実務展開」 |
| 11:30 | 講演Ⅱ | 福岡県保健環境部生活衛生課 技術主査 西原 研士 氏
演題「ビル管理士の業務適正化」 |
| 12:00 | 閉会 | |

【午後の部】

シンポジウム「水の危機管理」

- | | | |
|-------|-------------------|--|
| 13:00 | 開会の辞 | (社)福岡県ビルメンテナンス協会会長 末吉 桓寧 |
| | 来賓挨拶 | |
| 13:30 | 基調講演Ⅰ | 福岡市水道局 水道事業管理者 南里 兼儀 氏
演題「水道事業における危機管理」 |
| 13:45 | 基調講演Ⅱ | (社)全国ビルメンテナンス協会理事 川妻 二郎 氏
演題「建築物と水の関わりを考える」 |
| 14:30 | 青年部研究発表
(改善事例) | セッションⅠ「節水システムの構築」
セッションⅡ「給水施設の管理改善」 |
| 15:00 | パネルディスカッション | |
| 16:30 | 閉会 | |

建築物環境衛生管理技術者セミナー

開催趣旨

「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」(以下「ビル衛生管理法」という)が昭和45年に施行され、本年で25年が経過しました。その間、ビル衛生管理法のもとに特定建築物の維持管理のために建築物環境衛生管理技術者(以下「ビル管理技術者」という)が選任されて建築物の維持管理に務めてきました。しかし、近年、ビルの大規模化が進み、ビル内の構造設備は複雑化してきました。これに対応してビル内の環境衛生の適正管理を図るためビル管理技術者にはバランス(空気環境の調整、給水及び排水の管理、清掃、ねずみ・こん虫等の防除等)の取れた管理技術が要求されるようになりました。この時代の流れに対応して、各ビルメンテナンス業者は永年にわたり独自の経験(データ)を基に事業を展開してきたことと思います。しかしながら各ビルメンテナンス業者内では処理できない問題点も多くあろうかと思われま。この問題点を解決するだけでなく、ビルメンテナンス技術の向上のためにもビル管理技術者の勉強会を開催いたします。



財団法人ビル管理教育センター
理事長
小川 博 氏

Profile

(オガワ ヒロシ)

厚生省環境衛生局環境衛生課課長補佐(法制定当務) 富山県公害 厚生部次長、環境保健部長。厚生省東北地方医務局長、公害健康被害補償予防協会理事、労働省労働関係審査会委員を歴任。現在、財団法人ビル管理教育センター理事長。医学博士。

今年も住み良い都市ビルと地域のコミュニケーション作りを目指して「都市ビル環境の日」の諸行事が開催され、心からお祝いを申し上げますとともに、ビル管理技術者を対象とした「セミナー」及び「水の危機管理」をテーマとしたシンポジウムが企画され、共に時宜に適した選択であり深く敬意を表します。

「ビル衛生管理法」制定後、何時の間にか1/4世紀の歳月が流れましたが、振り返ると本法成立後の政省令制定は極めて短時間に仕上げねばならず、併せて国家試験、テキスト作成を含む講習会の準備等まさに修羅場で仕事に没頭している様なもので大変辛い思いをしましたが、それも今では一種の充実感と心の安らぎを感じ得ることは、私にとって大変に有難いことだと思っております。

その頃の重要な論議に管理基準があり、基準値を推奨値的なものにするか、最低許容的なものにするかは極めて慎重を要する問題でありましたが、皆様御承知の様にビルオーナー、ビルメンテナンス業界を始めテナントの方々などのご協力を戴くことにより、ビル環境衛生の向上を期待することとなりましたが、現状をみると管理基準値は殆どクリアされる程に改善され誠に嬉しい事です。

他面、違反即罰則の適用の主張等の意見も時折お聞きしますが、私なりにこの様な性格の法律こそ文化的

法律と自負致しており、また、米国を始め欧米諸国では、我が国の様な管理基準がシックビル症候群発症防止に果たす役割を極めて重要視していることを知った時、管理基準制定のお手伝いをした私は勇算りに尽きる想いをしたことを楽しく思い出している昨今でもあります。

然しながら、ビル管理上種々の問題が現実の問題として提起されているのも事実で、その一つに最近報道機関で報じられた「レジオネラ症」は重要な問題であり、本症の発生は冷却塔、加湿器等を含めた空気環境管理、さらには配管材質、配管内の水流、シャワー、手洗い、洗面等の給水給湯管理の問題等々と密接な関係があり、致命率の極めて高い疾患であることからその対策は急を要し、皆様の適切な対応が切に望まれるところであります。

最後になりましたが、世間のビル管理技術者に対する期待はさらに増大する傾向にありますが、それにお応えするには、資質の向上に努力することこそ最善の道かと考えられるこの時期に、この様なユニークな企画をされた末吉会長始め関係各位、本事業に積極的に協力された社団法人福岡ビルメンテナンス協会、福岡県並びに福岡市当局に重ねて敬意を表しますとともに、この偉大な理想の実現に益々御精進されますことを心からお祈りしてやみません。

[午前の部] 建築物環境衛生管理技術者セミナー



畑中 秋雄 氏

(ハタナガ アキオ)

東京ビジネスサービス株式会社 技術支援部長。
昭和46年青森県立むつ工業高校電気科卒業。同49年東京ビジネスサービス(株)入社。同54年以降、東京ホテル浦島事業所、住友生命立川ビル事業所配属を経て、新宿グリーンタワービル事業所、大阪国際センターに統括主任として配属。平成7年より現職。現在、都内約300の受託管理施設のアドバイザー兼講師のほか、グリーンタワービル(地下4階・地上29階)の実質ビル衛生管理者として活躍。



西原 研士 氏

(ニシハラ ケンジ)

福岡県保健環境部生活衛生課技術主査。
鹿児島大学農学部獣医学科卒業。昭和51年福岡県職員採用。同63年福岡県食肉衛生検査所。平成5年福岡県久留米保健所、同8年福岡県保健環境部生活衛生課。現在に至る。

[午後の部] シンポジウム「水の危機管理」



南里 兼儀 氏

(ナリ ケネヨシ)

福岡市水道事業管理者。
昭和36年佐賀大学文理学部法律学科卒業。福岡市役所に勤務。昭和51年以降、高速鉄道建設局総務部職員課長、総務局人事部労務課長、経済局空港対策部長、総務局人事部長、市民局長、総務局長を歴任。平成6年4月より水道事業管理者として水道事業の経営にあたる。



川妻 二郎 氏

(カサマツ ジロウ)

広島管財株式会社 代表取締役社長。
昭和22年広島工業専門学校(現広島大学工学部)卒業。帝人(株)入社。同47年広島管財(株)社長。現在、(社)全国ビルメンテナンス協会理事、21世紀委員長、中国地区本部長、日本環境管理学会理事等。

青年部研究発表〔改善事例〕

セッションI 「節水システムの構築」

班長 山下 剛史 (山下商店)
桑島 寿彦 (東洋美装)
岡崎 清治 (東洋美装)
佐藤 恒士 (三信ビル管理)
渡辺 敏也 (富士美装)

近年の全国的な少雨による水不足は、資源に限りがあることや、地球環境の重要性を私たちに改めて痛感させてくれました。また、この不況時にもかかわらず、公共料金は値上げを余儀なくされています。殊に水道料金は水需要の増大に設備の整備が追いつかず、3〜4年毎に平均20%程度の値上げがされています。したがって、限りある水資源を有効に利用することは、環境問題においても、企業や家庭の経費削減という意味からも必要不可欠な急務の問題となっています。私たち青年部は、ライフサイクル・コストの一環として、この問題に取り組んできました。いろいろな節水の方法がありましたが、ひとつの結論として、節水方法としては優れたシステムと思えましたので、今回、ここに紹介させていただきます。

水道には、使用用途に応じた適正水量があります。この適正水量を超える流出量は浪費水量、つまり水の無駄使いとなります。本節水システムは、そのような浪費水量を無理なくコントロールし、水道量を節約するものです。従来の節水システムは、流量の減少とともに水圧の下がるものが大半でしたが、本節水システムはオリファイスの原理を利用しており、水圧が変わりませんので水の使用感を損なうことがありません。この節水システムの導入により約10%〜20%の節水が可能となるだけでなく、同時に身近な環境問題への参加ということにも結びつくものと思われま

セッションII 「給水設備の管理改善」

班長 井上 英彦 (美化)
狩野 繁 (安田建物管理)
行平 泰夫 (東福互光)
江洲 治彦 (総合システム管理)
福岡 淳二 (総合システム管理)

水道の安全性ということでは、日本は諸外国に比べて高いと言われています。この安全性を守り、ビルで生活する人々に安心して水を使用してもらうことは、我々ビルメンテナンスの大切な使命の一つです。

そこで現状の給水設備における問題点、そして将来においてビルメンテナンス業が果たすべき役割について考察したいと思います。

1. 現状の問題点

様々な施設で働く我々が、日常の管理及びその情報において重要なことは

- (1) 断水をさせてはならない
- (2) 安全な水を供給しなくてはならない

ということですが、そのためには、その設備においての問題点を熟知しておくことが必要です。主な問題として大きく2つに大別しますと

- ①機械関係の故障…配管・継手・水槽等に起因
- ②電気関係の故障…ポンプ・制御盤等に起因

に分けられます。これらの問題について、一番有効な改善方法をお客様に対し提言して行くことが必要です。

2. 将来において果たすべき役割

- ①これまで蓄えてきた知識と経験をもとに、設備を造る側(メーカー)に対しても様々な意見を提案する
 - ②設備更新時、あるいはビルの建築段階から設備についての設計に関与して行く地位を築いて行く
- といったことが、我々が今後なくてはならない業界として認知されるよう努力すべき目標だと思います。

パネルディスカッション

コーディネーター
Profile



川妻 二郎 氏

広島管財株式会社 代表取締役社長。
昭和22年広島工業専門学校(現広島大学工学部)卒業、帝人(株)入社。同47年広島管財(株)社長。現在、(社)全国ビルメンテナンス協会 理事、21世紀委員長、中国地区本部長、日本環境管理学会理事等。

パネリスト
Profile



野原 隆士 氏

福岡県保健環境部技術主査
昭和32年生まれ
日本大学農獣医学部卒



鬼塚 洗耳 氏

福岡地区水道企業団施設部長
昭和14年生まれ
筑豊工業大学土木工学科卒



畑中 秋雄 氏

東京ビジネスサービス(株)
技術支援部課長
昭和25年生まれ
青森県立むつ工業高校電気科卒
現在、東京都内約3000の委託管理施設のアドバイザー兼講師



金子 誠 氏

(社)福岡ビルメンテナンス協会 青年部 青年部長
昭和27年生まれ
早稲田大学教育学部卒
(株)朝日ビルメンテナンス役員 待遇(社長付)

平成8年度 第2回クリーンアップ福岡で ビルメンのイメージアップ

昨年、第1回「クリーンアップ福岡」の活動を通じて、私たちはクリーンクルーとしての共通認識や存在意義を確認し合うことができました。

奉仕活動で共に流した心地よい汗は、なにもにも代えがたいビルメンの共有財産となったことでしょう。今年もまた新たなドラマが生まれる予感に包まれながら、第2回「クリーンアップ福岡」に取り組みたいと考えます。

第1回の活動では、私たちの管理意識が「点から面へ」と拡がりを見せました。クリーンクルーの一人ひとりも日常の隔絶された狭い環境から、より大きな作業環境の存在することを体感したと思います。個々の就業意識が、より広くより強く公共の場へと拡がっていくことは、とりもなおさずクリーンクルーが連帯感を得ることにほかなりません。クリーンアップに参加することにより、クリーンクルー各自が地域社会の一員として自分の存在意識を見直し、自負心を育てる機会となったことは大きな成果のひとつといえるでしょう。

第2回の今年は、アウトドア型クリーンキャンペーンの特徴を活かして、ビルメン業界のイメージアップにつながる活動を展開したいと考えます。

他の各種団体が実施しているボランティア清掃とは一線を画した、よりプロ集団らしい着眼点で一斉作業の役取りを組み立てましょう。ポリシャ洗浄のパフォーマンスや日ごろ培われた組織だった一貫清掃を実施することにより、市民へプロ集団「クリーンクルー」の存在を強くアピールしましょう。

また最近、とてもカラフルでスマートなユニフォームを着用したクリーンクルーが目立ちます。このようなファッションな制服に身を包んだクリーンクルーに数多く参加していただき、明るいイメージ作りに一役かってもらいたいものです。

この「クリーンアップ福岡」が回を重ねるごとに、私たちビルメン業が「街のお掃除屋さん」から「ビルの快適環境を提供する産業」へとイメージアップしていくことを期待してやみません。

福岡地区

責任者
松本 正司
[(株)旭商会]



クリーンアップ福岡の趣旨等を考え、会員の皆様と一緒に我々のビルメンテナンス業の美化運動を通して社会に少しでもアピールできましたら良いと思います。昨年は歩道清掃行進を実施致しました。

今年は業界のイメージアップに向け、主に「であい橋」の洗浄作業を中心に

1. 冷泉公園→明治通り→中央公園
2. 中央区役所→明治通り→中央公園



の歩道清掃を実施致します。業界のPRに向け、昨年以上の脚力とお脚参加を切にお願ひ申し上げます。

北九州地区

責任者
苗田 庸之助
[(株)西日本美装]



2年後には小倉駅が新築開業。2005年には新北九州空港開港予定で共に工事中です。ビルも増えてきました。個々のビルはどきもきれいです。しかし、公共の域は決してきれいとは言えないのが現状です。川もきれいになりました。私の知る粟川は下水のたれ流し等で魚の住める川ではありませんでしたが、今はアユが遡上する程に整備も進んでいます。

特に北九州市が力を入れているマイリバー計画にそって、水際の美化を目指し、私たちビルメンテナンス業界も10月4日にクリーンアップ作戦(ゴミ収集)を行い、同川にある太陽の橋



上に鋪石タイルの洗浄作業を実施して、業界が都市における生活環境の整備に貢献していることを市民に見てもらおうとします。

筑豊地区

責任者
大塚 明人
[三信ビル管理(資)]



わが町筑豊には、まだまだ多くの緑が残っておりますが、都市化の波は徐々に押し寄せて来ており、都市部と同様にゴミ処理や河川の汚染等が問題となってきております。筑豊地区では数年前からボランティアの人達を中心となって、遠賀川のクリーンキャンペーンの一環として「遠賀川下り」が開催されております。こうした民間が主体となったキャンペーンが行われるようになったと云うことは、環境への意識が高まりつつあると言えます。

さて、21世紀は「心の時代」「環境の時代」になると言われております。我々ビルメン業界は「心」と「環境」を形にして行く業界ですので、今後、ますます社会的役割の重要性が増して行くでしょう。そのような観点から、筑豊地区の「クリーンアップ福岡」は、環境保全の重要性の認識とビルメン



業界の認知を筑豊地区の方々へ広めて行く機会にしたいと考えております。筑豊地区の中心部で行われるこの活動は、回を重ねる毎に注目され、確実に認知されるものと確信しております。各地区の皆様方のご協力を切にお願ひ申し上げます。

筑後地区

責任者
水口 詩朗
[(株)クリーン商会]



昨年「都市ビル環境の日」が設定され、ビルメンテナンス業務とはどのような仕事をしている会社なのか理解していなかった一般の人達に大きなインパクトを与えたものと思います。今年も都市ビル環境の日がやってまいります。都市ビル環境の日をアピールするのは、県下全域で行うクリーンアップ福岡だと思います。昨年以上に知恵を働かせ、何を行えばその土地に生活する人々が喜び、この業務を理解できるかを考え実行したいものです。

各自治体では、公園の整備、歩道の整備も進んでいますが、後の管理がなかなか出来ないのが地方都市の悩みと見うけられます。そこで今年は昨年同様、歩道清掃に加え、緑道公園の清掃作業を行い、筑前・筑後の私たちは、自治体と連携を取りながらその場の清掃をクリーンアップ福岡の一環に致します。